

令和4年度 一本松中学校学校評価(学年末)

愛南町重点目標

評価規準 A：目標を達成 B：6割以上肯定 C：4割以上肯定 D：4割未満 サンプル数 教職員(8人) 生徒(45人) 保護者(34人) 地域住民(24人)

重点目標	評価指標及び目標値(期待される姿)	評定	学校による考察(◇)及び改善方策(◆)	評価資料	アンケート結果(%)					
					4	3	2	1		
2 生徒指導の徹底と健全育成	(1) 安心して過ごせる学校づくり	生徒は、楽しく学校生活を送っている。 【目標値】 教職員・生徒・保護者の8割が肯定	学年末評価 A	◇教職員・生徒・保護者の8割以上が肯定的な回答をしているため、A評価である。様々な制限がある中で、生徒が楽しく学校生活を送っている様子がうかがえる。生徒主体の生徒会活動や学校行事を通して、生徒は満足感や充足感を得ている。また、そういう子供たちの姿を見て、教職員や保護者の評価も高くなっていると考えられる。 ◆少数ではあるが否定的な意見の生徒がいるため、学校と家庭が連携して実態把握に努める必要がある。	教職員アンケート	50	50	0	0	
					生徒アンケート	87	9	4	0	
						保護者アンケート	71	29	0	0
	(2) 積極的な生徒指導の推進	生徒との信頼関係を築き、いじめ・不登校の未然防止と早期発見に努める。 【目標値】 教職員・生徒・保護者の8割が肯定	学年末評価 A	◇教職員・保護者の8割以上が肯定的な回答をしているため、A評価である。学習時間や休憩時間の中で、教職員が生徒を常に見守るように心掛けた成果であると考えられる。また、家庭訪問や懇談会、参観日等の機会を生かし、保護者との信頼関係を築くことができた実感している。 ◆少数ではあるが生徒・保護者の回答の中に否定的なものがある。今後、その要因を探り、改善のための対策を検討していく必要がある。	教職員アンケート	87	13	0	0	
					生徒アンケート	73	22	5	0	
					保護者アンケート	85	12	3	0	
(3) 情報共有と組織的対応の推進	生徒の健全育成に向けて、全教職員が情報を共有し、組織的に対応する。 【目標値】 教職員の8割が肯定	学年末評価 A	◇学校体制で生徒指導を行った成果が数値として現れている。全教職員が様々な場面や機会を捉えて、生徒情報の共有を行っている。また、迅速な対応や生徒情報記録の蓄積が高い評価につながっていると思われる。 ◆学級担任や部活動顧問が一人で問題を抱えることがないように、今後も学校体制での生徒指導を実践していく。また、生徒情報記録の蓄積を継続していく。	教職員アンケート	100	0	0	0		
(4) 情報モラルに関する学習の充実	情報モラルに関する学習に積極的に取り組む。 【目標値】 教職員・生徒の8割が肯定	学年末評価 A	◇教職員・生徒の8割が肯定しているため、A評価とした。生徒対象の情報モラル教室の実施と生徒指導だよりや保健だよりでの啓発を継続していることが、高い評価につながっていると考えられる。 ◆一部の生徒が否定的な回答であるため、生徒や保護者への啓発を続けていく必要がある。SNS等に潜んでいる危険に対する意識を高めるため、保護者向けの研修も今後計画していく。	教職員アンケート	87	13	0	0		
				生徒アンケート	46	46	8	0		
(5) 基本的な生活習慣の定着	「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣を定着させる。 【目標値】 生徒・保護者の8割が肯定	学年末評価 A	◇生徒保健委員会が、自ら問題意識を持って生活習慣の改善に向けて活動できた。生徒の取組の様子を、保健だより等で家庭へ発信したことで、家庭の協力を得られたと実感している。毎月の保健調査やインターネット依存症スクリーニングテストの結果を見ると、自己の生活を振り返り、意識変容している生徒も見られる。 ◆ITメディア使用が生活習慣に及ぼす影響が大きいため、生徒主体での保健委員会活動を継続して行い、学校と家庭が協力して行える活動を生徒と共に考え実施する。	生徒アンケート	47	40	9	4		
				保護者アンケート	71	26	3	0		
(6) 個別の支援や教育相談の充実	生徒の悩みや願いを早期に把握し、迅速に対応する。 【目標値】 教職員・生徒・保護者の8割が肯定	学年末評価 A	◇スクールカウンセラーとうまく連携したりノウハウを学んだりして、教育相談の充実を図れたことが大きな成果である。学習用端末を使っての学校生活アンケートも、生徒の悩みや願いの早期把握につながっていると考えられる。 ◆少数ではあるが、生徒・保護者アンケートに否定的な回答があるため、要因を探り、改善策を検討する必要がある。今後も、生徒と良好なコミュニケーションを図り、積極的に関わっていく。	教職員アンケート	87	13	0	0		
				生徒アンケート	73	22	5	0		
				保護者アンケート	85	12	3	0		
学校運営協議会の所見	学年末評価		○先生方が、子供たちをよく見守っていることに感謝している。 ○保護者としては心配な年頃だが、楽しそうに学校へ行く様子や学校での様子を見て安心している。 ●これからも学校・家庭・地域との連携を密にして、いじめや不登校がないように努めなければならない。 ●全体的に評価できるが、安心して過ごせる学校づくりの項目で評価が低い生徒がいること、教職員・保護者の評価との相違が気になる。 ●教職員が生徒の異変に気付く感性を持つために、自分磨きを大切に、その姿を生徒に見せてほしい。 ●基本的な生活習慣については、少数の否定的な評価にも対応していく必要がある。学校と家庭が連携して改善に努めてほしい。	学校の対応	学年末評価	学校や家庭、地域それぞれの場で、生徒が安心して過ごせるように、今後も学校と家庭・地域が協力し合って子供たちを見守っていく。 学校内外での生徒の情報収集と共有に、今後も力を注いでいく。生徒の些細な変化にも気付く教職員の感性を磨くと共に、生徒指導上の問題に迅速に対応していく。				